

1 ベースとなる授業観「子ども自らが、心ゆくまで探究する」

- ・ベースとなる授業観をふまえて研究する。

2 学び創造研究会の立場

3つの方向

授業者及び研究校の公募 共同研究者 自主性、独自性を生かした研究

(1) 自主性、独自性が生きる、主体的な実践研究に

- ・子どもたちが探究する学びをもとにした実践研究とする。
- ・共同研究者を伴走者として、ともに研究するというスタンスで取り組む。

(2) 道筋がわかるような研究に

- ・授業者や研究校の「研究のあゆみ」を大切にする。

(3) 参加者が自己を振り返り新たな自己形成に資する研究会に

- ・自らの授業実践と重ねながら、子ども観や教育観を見返すきっかけとする。

(4) 会員（読み手）に分かりやすく伝わる情報発信に

- ・情報発信として「Booklet信教」、信教HPを発信媒体とする。

3 研究推進 開催校、学び創造研究会研究調査委員、信教研究調査部

(1) 公開日 ＊半日日程（4時間程度）

- ・授業、授業研究会、共同研究者による講演、ワークショップを実施する。

(2) 情報発信

- ・信教HP PR 1→7月上旬アップ予定 PR 2→8月HPアップ予定
- ・Booklet信教 1月号（vol.149）、2月号（vol.150 vol.151）

(3) 研究助成金

- ・個人型→授業者7万円、学校3万円 学校型→学校10万円

(4) 参加者募集の働きかけ

- ・郡市教育会と校長会へは、研究調査委員、常任委員をとおして働きかける。

4 令和8年度 開催予定一覧 ◇テーマ研究計画による

開催日	授業者・研究校 / 共同研究者	◇ テーマ
10 / 7 (水)	岡谷北部中学校 / NIEアドバイザー 二木治樹	◇社会とよりよくかわりながら幸せに生きる力を育む ～「対話」を取り入れた確かな学力の習得をめざして～
10 / 20 (火)	櫻ヶ岡中学校 / 東京学芸大学 准教授 渡辺貴裕	◇探究的な力を培う自己決定的学習の推進 ～学びのキーワード 決める・関わる・深める
10 / 22 (木)	三枝祐紀（八坂小中） / 信州大学 講師 楠見友輔	◇多様な他者との対話や協働を通じて学ぶ「異年齢の学びの授業」

10/30 (金)	遠山恒輝（埴生中）／ 信州大学 講師 大井和彦 ◇物語文に伏線は必要か～生徒とともに考える物語教材～
11/6 (金)	伊那中学校／ 信州大学 教授 谷内祐樹 ◇子どもたちはどう学ぶのか～探究・協働・UD化～ 山田裕也（屋代高附属中）／国立教育政策研究所 調査官 佐藤大樹 ◇聞くことに基づいて話す領域統合型の言語活動やそれを支える練習活動による「聞くこと」の指導のあり方
11/11 (水)	清水中学校／ 信州大学 名誉教授 東原義訓 ◇「探究×ICT」～自律して学ぶ生徒の育成～ 田口智一（旭ヶ丘中）／ 信州大学 教授 香山瑞恵 ◇ICT機器を効果的に活用し生徒自身が理解の深まりを実感できる授業づくり
11/17 (火)	白馬南小学校／ ヒロック初等中等部 校長 蓑手章吾 ◇子ども自ら学び創り上げる授業・学校づくり 緑ヶ丘小学校／ 県立美術館 学芸専門員 青山由貴枝 ◇子どもも先生も「おもしろい」を実感できる学びの共創
11/18 (水)	下諏訪南小学校／ 埼玉大学 教授 岩川直樹 ◇子どもが夢中になって学ぶ～探究的な学びを考える～ 松川北小学校／ 信州大学 特任教授 山浦貞一 ◇一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校 須坂小学校・須坂支援学校／ 信州大学 講師 楠見友輔 ◇子どもとともにつくるインクルーシブな学校
11/20 (金)	伊藤真紀（信濃小中）／ 信州大学 准教授 佐藤和紀 ◇子どもと共に授業を創る
11/26 (木)	塩原一矢（白馬北小）／ 信州大学 准教授 藤田育郎 ◇”対話”で高め合う体育学習 ～子ども集団でも学び合うことができる仕組み作り～
11/27 (金)	寺川耕平（伊那西小）／ 日本体育大学 教授 近藤智靖 ◇誰一人取り残さない体育授業を目指して～ボール運動の実践に焦点を当てて～ 浅間中学校／ 文教大学 教授 藤森裕治 ◇「探検!研究!佐久の未来と歴史」 花岡真子（塩田西小）／ 埼玉大学 教授 岩川直樹 ◇自分や友達を思いやる子ども～子どものうちにおきている想いをとらえる